

平成26年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間:平成26年4月1日～平成27年3月31日

施設名	大和市郷土民家園
指定管理者	公益財団法人スポーツ・よか・みどり財団
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

●施設の総括管理及び庶務

管理運営体制	常時2名
開園状況	毎週月曜日(休日の場合翌日)及び年末年始(12/29～1/3)を除く毎日
開園時間	午前9時～午後4時30分(7/21～8/31は午後5時まで)

●施設の利用受付及び庶務

◎年間利用者数

カウンター集計による利用者数…50,046人

記帳集計による利用者数…32,028人

(記帳集計内訳)

区分	市内	市外	県外	合計
一般	16,748人	14,002人	1,278人	32,028人

◎小中学校等の施設利用

小中学校…市内14校、市外14校、計28校

◎施設利用者に対する歴史説明

来園者の要望に応じて、大和の歴史(古民家・農耕・養蚕)等の説明を実施。

●園内清掃、環境整備及び簡易な修繕等

園内清掃	定期園内清掃(開園日の午後実施)
施設内清掃	旧北島家・旧小川家両施設の清掃(開園日の午前実施)。茅葺屋根等防虫のため両施設を燻蒸(開園日一日交代)。
植物管理	除草、草刈、畑管理、高木・低木剪定、生垣剪定等を実施(毎月)。
簡易修繕	管理施設、備品等の簡易修繕を実施(毎月)
民具作製	竹とんぼ・お手玉・ブンブンごま等を適宜作製
巡回・警備	開園時間中常時1名巡回警備。閉園時間中は機械警備を実施。
消防訓練	文化財防火デー(1/26)にちなみ1/23に実施。

●文化財調査報告書の紹介

教育委員会発行の文化財調査報告書を民家園内にて展示紹介した。

●事業の実施

◎自主事業

	事業名	開催日	参加者数
1	民家園で端午の節供 ※	5/5	654 人
		5/6	585 人
2	繭クラフトを作ろう	6/8	11 人
3	七夕の調べ ※	7/5	74 人
		7/6	328 人
4	カイコを知ろう	7/20	16 組/34 人
5	小麦脱穀体験 ※	7/21	364 人
6	夏休みかまどでご飯炊き	8/1	32 人
7	十五夜団子を作ろう	9/7	14 組/32 人
8	古民家でお月見 ※	9/7	277 人
9	民家園の秋まつり ※	11/2	689 人
10	正月飾りを作ろう	12/23	19 人
11	初春の七草粥 ※	1/7	153 人
12	味噌作り(2日間連続事業)	2/14	21 人
		2/15	
13	民家園の春まつり ※	3/8	502 人
14	箏のしらべとともにお話の世界へ ※ ●7/6 は七夕の調べと同時開催 ●9/7 は古民家でお月見と同時開催	7/6	328 人
		9/7	277 人
		10/26	212 人
		2/28	500 人

※印の事業は自由参加制。参加者数は来園者数。

◎市内3館合同企画展示

	企画展名	開催期間	来園者数
1	市内3館古民家めぐり～古民家で年始め～ 「七草粥に何入れる？」	1/4～1/18	2,462 人
2	市内3館古民家めぐり～古民家でひな祭り～ 「大和のひな祭り」	2/21～3/8	3,592 人

◎年中行事(展示)

	事業名	展示期間	来園者数
1	端午の節供展示	4/19～5/6	6,841 人
2	七夕飾り展示	7/1～7/6	843 人

3	カイコの飼育展示	7/21～8/10	1,971 人
4	お盆展示	8/9～8/16	653 人
5	十五夜団子飾り展示	9/5～9/9	539 人
6	十三夜団子飾り展示	10/2～10/7	517 人
7	ヨーカゾーの目カゴ飾り展示	12/2～12/7	725 人
8	正月飾り展示	12/24～1/7	936 人
9	春の七草展示	12/24～1/7	936 人
10	ヨーカゾーの目カゴ飾り展示	2/3～2/8	750 人
11	繭玉団子飾り展示	1/10～1/15	1,182 人
12	お雛様飾り展示	2/10～3/8	5,916 人

【業務実施状況に関する補足説明】

●施設利用者数の前年度比

カウンター集計数：721 人増 記帳集計数：604 人増

●自主事業のうち2件は新規事業(繭クラフトを作ろう、夏休みかまどでご飯炊き)。

2. 収支決算概要

(単位：円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に支払った金額)	8,226,000	人件費 (給料手当、臨時雇賃金、福利厚生費)	6,144,693
その他収入 (事業参加料・民家園販売上等)	471,615	事業費 (会議費、消耗品費、諸謝金)	208,494
		光熱水料費 (電気料、水道料)	369,502
		施設管理費 (通信運搬費、消耗品費、修繕費、燃料費、賃借料、保険料、租税公課、負担金、委託費)	1,737,332
収入計 (①)	8,697,615	支出計 (②)	8,460,021

収支決算	237,594
------	---------

【収支決算に関する補足説明】

特になし

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する教育委員会の評価は次のとおりです。評価にあたっては、平成27年8月11日に文化財保護審議会からの意見聴取を行いました。

評価の視点1：施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none">●施設の利用許可事務については、条例などに則り適切に行われている。●無料参加型行事の実施や、見学者向けワークシートの作成など施設の平等利用及びサービスの向上に努めている。●利用者からの意見・苦情等については、内外への周知を含めて適切に対応している。
評価の視点2：施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none">●規定の年中行事を実施している。自主事業として、養蚕関係講座、味噌作り体験、春秋のまつり、朗読・演奏公演など、古民家の来歴・特色・雰囲気を活かした様々な事業を実施している。また、立地(泉の森)の特徴を活かした郷土民家園オリジナル商品の作製など、多様な事業を行っている。●つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館との合同企画展も実施し、市内の文化財普及啓発活動にも取り組んでいる。●地域住民をボランティアとして活用し、各人の得意分野を活かしている。また、地域団体との連携事業にも積極的に取り組んでおり、地元根付いた事業を展開している。●平成23年3月の震災以後減少傾向にあった来園者数は、H26年度に若干回復している。引き続き来園者数の回復・増加に向けた取り組みが必要である。
評価の視点3：施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none">●各種点検等は仕様書等に沿って漏れなく実施されている。施設の清掃や植物の管理及び施設の補修も適切に行われた。
評価の視点4：施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none">●学芸員の有資格者を計画的に配置し、施設の管理を適切に行う体制を整えている。●施設の管理運営を安定的に行う上で十分な財務状況と判断している。●配置学芸員の更なる能力向上のため、専門研修や他館園の見学・交流等の実施が必要である。